

令和元年度 福井県伝統的工芸優秀継承者表彰 被表彰者一覧

*年齢・従事年数は平成31年4月1日現在

工芸品名	氏名		年齢	従事年数	住所	勤務先	功績の概要
越前漆器	相馬 忠義 (H18 伝統工芸士)		77	63	鯖江市	相馬漆器	<p>【伝統技能】</p> <p>刷毛で漆を塗って乾燥させ仕上げる真塗をはじめ木地呂塗、蒔地塗など多彩な技術を駆使し製品を仕上げる技能を持つ。また、綿に漆を染み込ませたものを重ねて乾燥させ、壺などを製作する独特の技術を持つ数少ない職人。</p> <p>【後進育成】</p> <p>5名の弟子を育成、そのうち2名は漆器職人として活動中。</p>
越前和紙	山口 悦子 (H25 伝統工芸士)		63	38	越前市	余 (やまき) 製紙所	<p>【伝統技能】</p> <p>主に、書画で使われる画仙紙の製造に長年従事しており、産地内で唯一手漉きにより製造している。原料配合等の調整を行い、書家の要望に合わせた高品質の画仙紙を製造する技能を持つ。</p> <p>【後進育成】</p> <p>越前生漉鳥の子紙保存会準会員として技術の保存に当たる一方、若手研修生の指導にも積極的に当たっている。また、越前市内小学校の卒業証書漉きを指導し、子供たちの伝統産業への関心を高める努力を続けている。</p>
若狭塗	羽田 浩一 (H21 伝統工芸士)		56	36	小浜市	羽田 漆器店	<p>【伝統技能】</p> <p>貝殻や卵の殻などを埋め込み、幾重にも漆を塗り重ねて研ぎ出す若狭塗の技法に精通。伝統的な若狭塗に独自の色使いや麻布を模様として取り入れ、若狭塗の新たな魅力を発信している。また、ドラマ小説「ちりとてちん」において技術指導や作品の提供を行うなど、多方面から産地PRに努めている。</p> <p>【後進育成】</p> <p>伝統工芸の後継者育成のため、小浜市と協力し「若狭ものづくりプロジェクト」を立ち上げ、1名の弟子を育成している。また、若狭工房で体験教室を開催し、伝統産業の関心を高めている。</p>

工芸品名	氏 名		年齢	従事年数	住 所	勤務先	功績の概要
郷土 工芸品 (福井仏壇)	ちろうけ 長家	こうじ 功治	62	46	鯖江市	永照堂	<p>【伝統技能】 天然漆を使用した仏壇製造における金箔施工を専門とする。長年の経験により、肌の感覚で漆の乾く速度を見極め、金箔のツヤを一定に保ち、美しく仕上げる技能を持つ。</p> <p>【後進育成】 仏壇を製造する仏壇店・職人で構成される福井仏壇工芸会において、福井仏壇を認定する検査委員長として、10年以上に渡り、後進の技術指導に尽力している。また、郷土工芸品振興協議会主催の各展示会において、金箔押しの実演を行い、仏壇製造の技術普及に尽力している。</p>
若狭塗箸	きたむら 北村	まさひろ 正裕	68	45	小浜市	森木地店	<p>【伝統技能】 若狭塗箸の木地職人の第一人者として、使い手の要望に応じて材質や形に工夫を凝らした箸をつくる技能を持つ。特に、持ち手が波型のものや断面が星型のもの、多角形のものなどを作り出す木地製造のデザイン技術は業界で高く評価されている。</p> <p>【後進育成】 産地で数少ない木地職人の技術を継承するため若手職人を指導、現在1名の弟子を育成している。また、若狭塗箸の体験イベントの講師を務め、箸づくりの魅力を伝えている。</p>

(計5名)